

江戸川区立葛西中学校 学校だより 令和5年度 第6号

葛中われら

〒134-0083 江戸川区中葛西2-4-3 令和5年11月2日

教育目標

豊かな心

- 自ら進んで学ぼう
- 責任を果たそう
- 健康な生活を送ろう

伝統

副校長 松木 千明

10月に入り、学校全体が学芸発表会に向けての雰囲気へと変化しはじめた。放課後になると、どのクラスからも歌声が聞こえる。行事の前の学校は、やはり活気が違う。生徒もやる気に満ち溢れる表情に変わってくる。

「はやく並ぼう」「最後集中して歌うよ」「もう少し声を大きく」・・・お互いに声をかけあいながら、高めあう様子が見ることができる。中学生として本当に素晴らしい姿である。廊下では、美術部の生徒が舞台に掲示するスローガンの作成を、毎日、ひたむきに取り組んでいる。作成途中のスローガンを見るだけでも、気持ちが高揚してくる。2週間前になると、各学年の合唱や、各団体の舞台発表のリハーサルも日々実施され、いよいよ本番モードの空気に学校全体が変わってきた。生徒に声をかけると「合唱はとてもいい感じです・・・」という反応の生徒や、「ちょっと不安です」という生徒など、さまざまである。しかし、皆、行事に向けて真剣に取り組んできたということが感じとることができた。

コンクールには成績という結果があるが、やはり私は「本番までの努力」が一番大切であると考えている。・発表までの間にどれだけ真剣に取り組んできたか？ ・人とのつながりを大切にし、コミュニケーションをとりながらどれだけ努力してきたか？ この「本番までの努力」は、どんな結果であっても変わらず自分の心・からだに残る。そして、それが自分を大きく成長させるはずだ。

当日、各クラスの合唱、各団体の舞台発表、どの発表も心が打たれた。それは、どの発表も、「本番までの努力」を、表現しているものであったからだ。そう、この行事を通して、「葛西中の生徒全員が大きく成長することができた」と、見ている、聴いているすべての人に伝えることができたのだ。生徒全員の力で、生徒全員が大きく成長できる行事をつくりあげることができる葛西中学校の伝統を、これからも生徒全員の力でつないでいってほしいと強く感じた一日であった。

最後になりますが、この行事にご協力いただいた、保護者、地域の皆様にも心より感謝申し上げます。引き続き、来年度の学芸発表会もどうぞよろしくお願いいたします。



